



#### 4 いじめ・不登校

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	学校は、いじめや不登校、問題行動に対して適切な支援や指導を行っている。	89	32	36	8	0	24	3.31	3
児童	友だちにやさしくし、なかよくすごしていますか。	94	66	28	4	2	0	3.58	3.72
教職員	いじめや不登校など、問題行動の未然防止や早期発見と指導・支援の充実のため、組織的に適切な対応・取組を行っている。	100	57	43	0	0	0	3.57	2.98

#### 5 安全教育

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	学校は、子供たちの安全・防災意識を育てる取組を行っている。(避難訓練、防犯教室、交通安全教室 等)	96	52	40	3	0	5	3.51	3.22
児童	不審者にあったときや、地震や火事がおきたときに、どうすればよいか知っていますか。	96	82	14	2	2	0	3.76	3.84
教職員	危険回避能力や「自分の命は自分で守る」安全・防災意識を定着させる指導を行っている。	95	52	43	4	0	0	3.48	3.29

#### 6 家庭学習

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	お子さんは、うちガク(宿題や家庭学習)に進んで取り組む習慣が身に付いている。	65	22	43	26	8	1	2.79	2.85
児童	すすんで自分から、うちガク(宿題や、家庭学習)をしていますか	74	41	33	20	6	0	3.1	2.96
教職員	家庭と連携し、うちガク(宿題・家庭学習)の習慣化が図られている。	61	22	39	30	9	0	2.74	2.81

#### 7 そろえる活動(あいさつや学習規律)

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	お子さんは、よくあいさつをし、場に合った言葉づかいをしている。	82	18	61	16	2	3	2.99	文言変更
児童	自分からあいさつをしたり、正しいことばづかいをしたりしていますか。	89	47	42	9	2	0	3.35	文言変更
教職員	そろえる活動(生活)に基づいた指導をし、児童の挨拶・整頓・時間を守る意識が向上している。	82	30	52	17	0	0	3.13	2.64
教職員	そろえる活動(学習)に基づいた指導をし、学習規律が徹底されている。	83	22	61	17	0	0	3.04	2.76

#### 8 基本的生活習慣

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	お子さんは、規則正しい生活リズムが身に付いている。(早寝・早起き・朝ごはん 等)	80	33	47	17	3	0	3.1	3.1
児童	きそく正しい生活ができていますか。(はやね・はやおき・朝ごはん)	81	48	33	12	7	0	3.21	3.19

## 9 きまり

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	お子さんは、日新小のきまりをしっかり守って生活している。	91	36	51	7	1	5	3.28	3.25
児童	学校や学級のきまりをしっかりとももっていますか。	92	58	34	7	1	0	3.5	3.5

## 10 家庭・児童との連携・相談

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	学校は、子供たちの学習や生活、心身の健康などについて家庭に連絡したり、適切に相談に応じたりしている。	88	44	39	10	1	6	3.35	3.13
児童	先生は、こまったことがあったときに、話を聞いてくれますか。	92	78	14	6	2	0	3.69	3.06

## 11 情報発信

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
保護者	学校は、地域や家庭に学校の公開や情報発信を積極的に行っている。(学校行事や授業参観、学校便りや学年通信等)	92	57	33	6	1	2	3.5	3.42

## 12 楽しい学校

	アンケート項目	肯定的回答割合(%)	4	3	2	1	?	4段階評価値	前年度
児童	学校は、楽しいですか。	94	68	26	5	1	0	3.61	なし

# 日新小学校 学校評価について(概要版)

## 高評価（児童）

- ・ 授業で学習したことがよくわかる : **95%**

⇒ 授業改善や少人数指導、支援員活用、一部教科担任制等の成果。

- ・ 自分をアップデートしようとしている : **92%**

⇒ アップデート通帳の取組により自己肯定感がアップ！

- ・ 友だちにやさしくし、仲良くすごしている : **94%**

⇒ 日々の学級経営、生徒指導、道徳教育等の積み重ね。

- ・ 学校が楽しい : **94%**

⇒ 1人1人に居場所がある学校づくりに努めた成果。

## 高評価（注目の項目）

・先生は困ったことがあった時に話を聞いてくれる：**92%**

⇒前年度72%から20ポイント上昇。  
92%のうち78%が4段階の最上評価（前年度は41%）

・学校は、子供たちの学習や生活、心身の健康などについて家庭に連絡したり、適切に相談に応じている：**88%**

⇒前年度82%から6ポイント上昇。

☆目指す学校像にある「自分の居場所がある学校」の実現に向け、子供たちに寄り添った指導や支援を進めた成果。

総欠席数 R6：**3769**（病欠2705 事欠1064 遅刻1360）

▶ R7：**2786**（病欠2036 事欠750 遅刻1456）（2月13日時点）

**大幅な改善!**

## 高評価（保護者）

- ・ 学校は、いじめや不登校、問題行動に対して適切な支援や指導を行っている。 **： 89%**

⇒前年度78%から11ポイント上昇。不登校対策強化の成果。

- ・ 学校は、子供たちの安全・防災意識を育てる取組を行っている。 **： 96%**

⇒前年度88%から8%上昇。各種取組と情報発信の成果。

- ・ 学校は、地域や家庭に学校の公開や情報発信を積極的にを行っている。 **： 92%**

⇒学校便り、保健便り、生徒指導便り等の他、必要に応じてさくら連絡網で情報発信を行った成果。

## 課題点

- ・ 家庭学習に進んで取り組む習慣が身に付いている。

保護者 **65%** 児童 **74%**

⇒ 主体的に学びを進められる力を育成する必要がある。

- ・ 規則正しい生活リズムが身に付いている。

保護者 **80%** 児童 **81%**

⇒ 学習意欲の低下や不登校等にも影響。

児童への働きかけの工夫が必要。

保護者へは、様々な機会を通じた啓発が必要。

# 改善に向けて

## 家庭学習

- ・ 子供たちの「学びたい」という意欲を高める授業づくりを進めます。
- ・ 宿題以外に、自主的に家庭学習に取り組む日を設定するなどし、学習習慣の確立を図ります。
- ・ 「家庭学習の手引き」を見直し、子供たちが主体的に学びを進められる内容にします。

## 規則正しい生活

- ・ 児童会活動と連動した取組を進めます。（子供たち自らが考える機会の創出）
- ・ 生活リズム調査の結果をもとに、様々な機会を通して家庭への啓発を行います。

## 他にも

- ・ 学力向上に向けた取組、校内教育支援センターの積極活用、行事内容の見直し、など、様々な取組を進めていきます。詳細版をご参照ください。

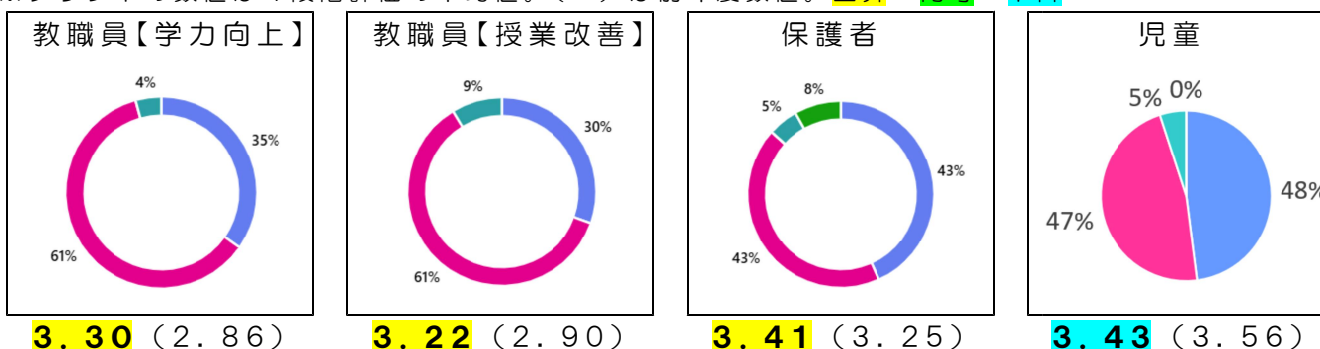
# 令和7年度 学校評価の分析と改善の方向性（詳細版）

教職員	4：そう思う	3：ややそう思う	2：あまりそう思わない	1：思わない	
保護者	4：よく当てはまる	3：やや当てはまる	2：あまり当てはまらない	1：全く当てはまらない	？：わからない
児童	4：そう思う	3：少しそう思う	2：あまりそう思わない	1：ぜんぜんそう思わない	

## 1 学力向上・授業改善について

教職員 (学力向上)	各種取組により学力の向上が図られている。 (朝読書の充実・再チャレンジ問題・文トレ)
教職員 (授業改善)	授業の振り返る場面における「学習内容」と「学び方」の振り返りを行っている。
保護者	学校は、学力の向上を目指した教育活動を行っている。
児童	授業(じゅぎょう)で学習したことがよくわかりますか。

※グラフ下の数値は4段階評価の平均値。( )は前年度数値。 **上昇** **同等** **下降**



【分析】 ※数値は小数点第一位を四捨五入。保護者のパーセンテージは「?回答」を除いて算出  
教職員の項目が2つある場合は合算で算出。(以下同様)

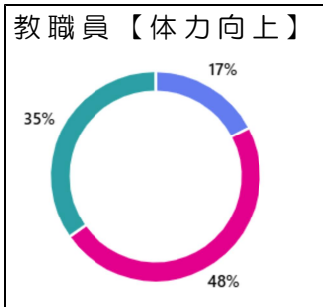
- ・教職員、保護者、児童の全てで肯定的回答が90%を超えた。3者共にほぼ同様の分布が見られた。
- ・肯定的な回答は、教職員93%（前年度76%）で大きく向上、保護者94%（前年度91%）で向上が見られた。児童は95%（前年度95%）で同等。

### 【改善の方向性】

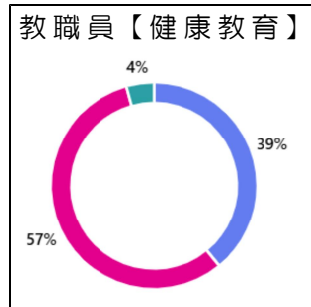
- ・次年度も「北海道チャレンジテスト（年3回）」で正答率が低かった問題について「再チャレンジ問題」を作成し複数回取り組みます。
- ・文章を書く力を向上させる「文トレ」を継続します。また、各学年に必要な算数の計算力を向上させる取組を朝学習の時間に行います
- ・「苫小牧市における授業改善策」にある4つの共通取組場面「見通す・決定する・協働する・振り返る」を位置づけた授業改善を進めます。

## 2 体力向上について

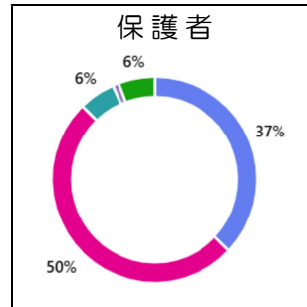
教職員（体力向上）	児童が楽しく体力向上に取り組める環境の工夫（運動遊びの充実）を行っている。
教職員（健康教育）	元気アップ等の取組や、健康指導、食育指導等を通して、健康教育を行っている。
保護者	学校は、子供たちの健康や体力の向上のための取組を行っている。
児童	学校や家でよく体を動かしてあそび、うがい、手あらいもしていますか。



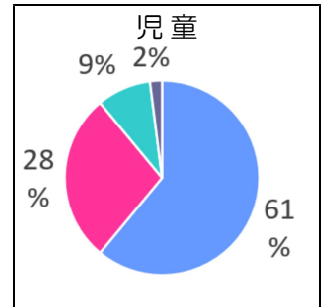
**2.83** (3.09)



**3.35** (3.00)



**3.31** (3.29)



**3.47** (3.46)

### 【分析】

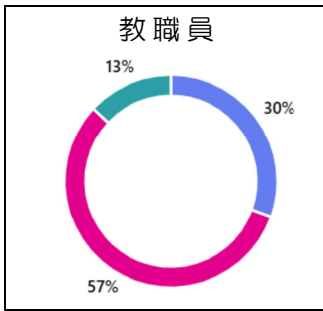
- ・教職員の体力向上に対する肯定的な回答は65%（前年度81%）と低く、課題がある。健康教育については、96%（前年度86%）が肯定的回答をしており、取組の充実が数値に表れた。
- ・保護者の93%（前年度94%）、児童の89%（前年度92%）が肯定的回答をしているが、前年度よりやや減っている。

### 【改善の方向性】

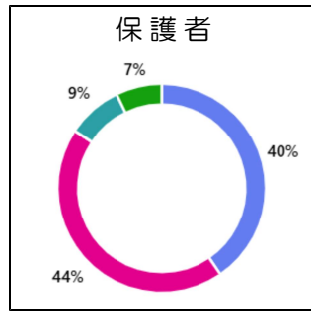
- ・体育の授業において競技経験者等の専門性のあるゲストティーチャーを招くなどして、児童の運動に対する興味や関心を高めていきます。
- ・児童会活動を通して、体を動かす取組を実施します。
- ・次年度も休み時間に運動に親しみやすい環境を整えます。（ドッジボールコートやサッカーゴールの設置、中庭の開放）
- ・全校共通の取組として体育の時間でのなわとびや3分間走を継続します。

## 3 自己肯定感と自己有用感の向上

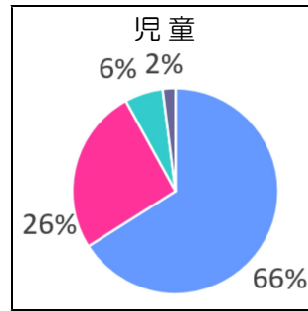
教職員	アップデート通帳の取組を通し、自己肯定感や自己有用感の向上を図っている。
保護者	学校は、子供たちが自分をアップデートする意識（成長しようとする意識）を育てる取組を行っている。
児童	自分をアップデート（成長）しようとしていますか。



3.17 (なし)



3.44 (なし)



3.56 (なし)

【分析】

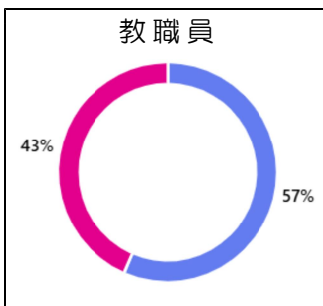
- 肯定的回答が、教職員87%、保護者91%、児童92%。特に児童の66%が「4」と回答している。
- 教職員回答では「2」が13%あり、取組に個人差があったことがうかがえる。
- 2%ではあるが、「1」と回答している児童がいる。
- 教職員記述にも、取組の効果に肯定的な意見が多い。

【改善の方向性】

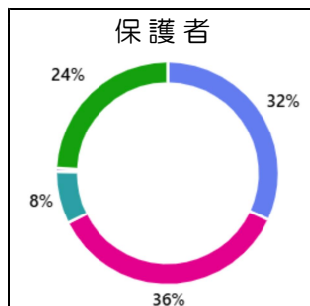
- 児童の自己肯定感と自己有用感の向上を図る取組をバージョンアップして行います。(案：チャレンジすること、できるようになったことや達成したこと等を書きためる。定期的に児童間で交流したり、担任から肯定的評価を行う。昼の放送等で頑張りを紹介する。)

4 いじめ・不登校

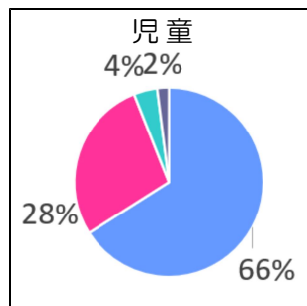
教職員	いじめや不登校など、問題行動の未然防止や早期発見と指導・支援の充実のため、組織的に適切な対応・取組を行っている。
保護者	学校は、いじめや不登校、問題行動に対して適切な支援や指導を行っている。
児童	友だちにやさしくし、なかよくすごしていますか。



3.57 (2.98)



3.31 (3.00)



3.58 (3.72)

【分析】

- 教職員の肯定的回答が100%となった（前年度はいじめ項目が100%、不登校項目は48%）。4段階評価でも大きく上昇した。
- 保護者の肯定的回答は89%となっており、前年度の78%から大きく上昇。

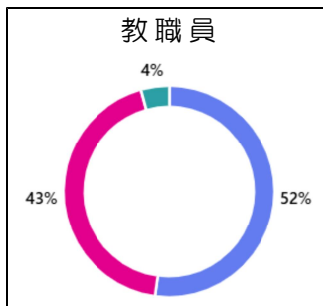
- ・児童の肯定的回答は94%となっており、前年度の96%と同等。
- ・「わからない」と回答した保護者が24%おり、前年度の19%よりやや増えた。

【改善の方向性】

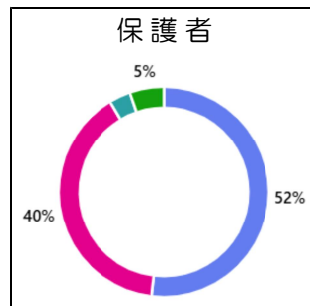
- ・不登校の未然防止に向け、校内教育支援センターの積極的活用を進めます。
- ・いじめ防止対策として、児童と教諭の面談時間をあらたに設け、1人1人に寄り添った支援を充実させます。
- ・指導部便り等を通して、不登校やいじめに対する学校の取組周知を充実させます。

## 5 安全教育

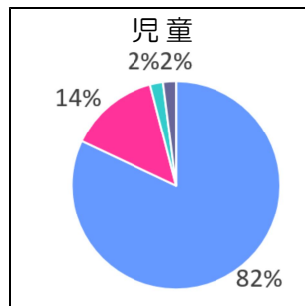
教職員	危険回避能力や「自分の命は自分で守る」安全・防災意識を定着させる指導を行っている。
保護者	学校は、子供たちの安全・防災意識を育てる取組を行っている。（避難訓練、防犯教室、交通安全教室 等）
児童	不審者（ふしんしゃ）にあったときや、地震（じしん）や火事がおきたときに、どうすればよいか知っていますか。



**3.48** (3.29)



**3.51** (3.22)



**3.76** (3.84)

【分析】

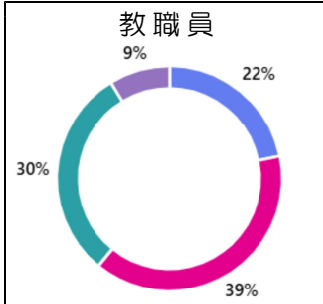
- ・教職員の95%（前年度100%）、保護者の96%（前年度88%）、児童の96%（前年度98%）が肯定的回答をしており、3者とも高い数値を示している。

【改善の方向性】

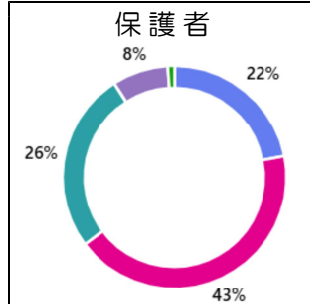
- ・災害が起きたときに児童自身が判断して行動できるよう、正確な知識や情報を避難訓練等を通して伝えていきます。
- ・危機管理マニュアル等を最新の情報に基づき随時アップデートしていきます。

## 6 家庭学習

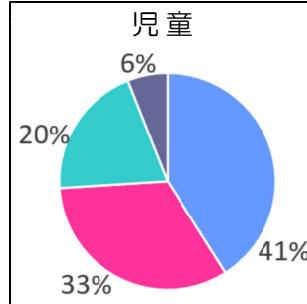
教職員	家庭と連携し、うちガク（宿題・家庭学習）の習慣化が図られている。
保護者	お子さんは、うちガク（宿題や家庭学習）に進んで取り組む習慣が身に付いている。
児童	すすんで自分から、うちガク（宿題や、家庭学習）をしていますか。



2.74 (2.81)



2.79 (2.85)



3.10 (2.96)

### 【分析】

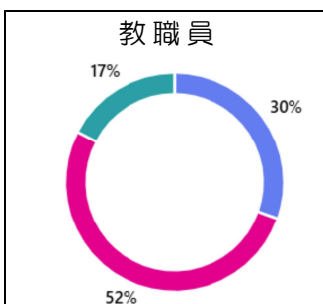
- ・ 3者とも他項目と比較して低い水準となっている。
- ・ 教職員と保護者の回答比率がほぼ同等となっている。
- ・ 肯定的回答は教職員が61%（前年度71%）、保護者が65%（前年度67%）、児童が74%（前年度69%）で、教職員と保護者が前年度を下回る一方、児童は上回った。

### 【改善の方向性】

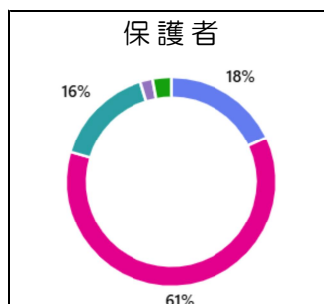
- ・ 宿題以外の自主的な家庭学習に取り組む日を設定し、学習習慣の確立を図ります。
- ・ 児童が主体的に学びを進められるよう、「家庭学習の手引き」の内容を見直します。

## 7 そろえる活動（生活面）

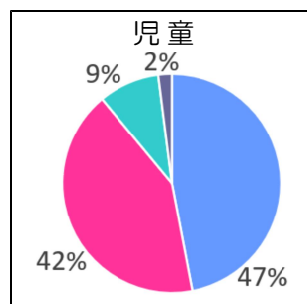
教職員	そろえる活動(生活)に基づいた指導をし、児童の挨拶・整頓・時間を守る意識が向上している。
保護者	お子さんは、よくあいさつをし、場に合った言葉づかいをしている。
児童	自分からあいさつをしたり、正しいことばづかいをしたりしていますか。



3.13 (2.64)



2.99 (文言変更)



3.35 (3.46あいさつのみ)

【分析】

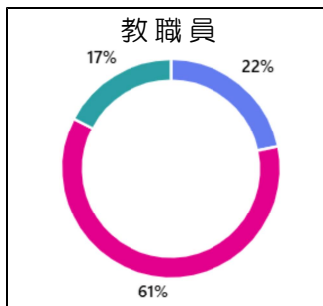
- ・教職員の肯定的回答が82%となり、前年度の48%から大きく上昇した。保護者は82%（前年度82%）、児童は89%（前年度91%）で前年度と同等。
- ・教職員と保護者の否定的回答の割合がやや多く、課題があることが分かる。

【改善の方向性】

- ・「時間を守る意識の定着」を次年度の重点とし、各月の生活目標への設定や児童会活動と連動した取組を行います。
- ・挨拶についても、同様に指導を継続していきます。

## 8 そろえる活動（学習面）

教職員	そろえる活動(学習)に基づいた指導をし、学習規律が徹底されている。
-----	-----------------------------------



3.04 (2.76)

【分析】

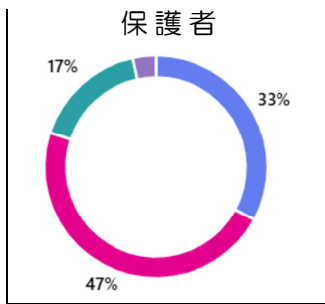
- ・肯定的回答が83%となり、前年度の71%から上昇した。
- ・分布から、取組に学級差があったことがうかがえる。

【改善の方向性】

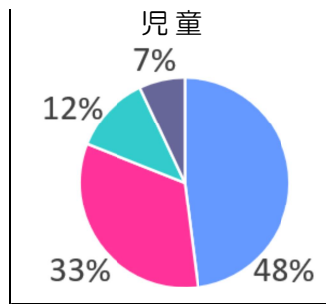
- ・全校で徹底が図られるよう、年度初めと前期終了時に児童アンケートを実施し、改善サイクルを回します。

## 9 基本的な生活習慣

保護者	お子さんは、規則正しい生活リズムが身に付いている。（早寝・早起き・朝ごはん 等）
児童	きそく正しい生活ができていますか。（はやね・はやおき・朝ごはん）



3.10 (3.10)



3.21 (3.19)

【分析】

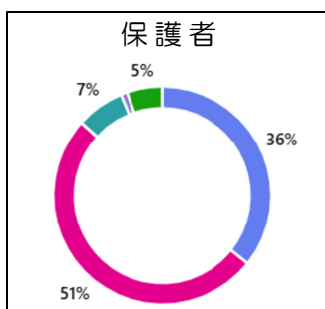
- 否定的回答が保護者20%、児童19%となっており、他項目に比べ高い数値となっている。
- 前年度の保護者回答は、2が20%、1が0%だったが、今年度は、2が17%で1が3%（7名）いる。
- 児童の前年度の否定的回答は24%で、今年度はやや改善された。

【改善の方向性】

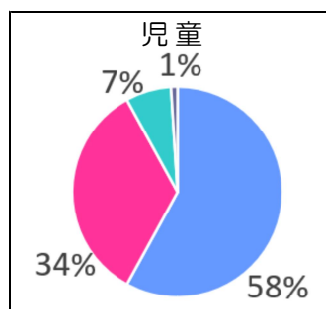
- 元気アップ（長期休業明けに1週間の生活リズムを記録する取組）の項目に家庭でのメディア利用時間を加え、望ましい生活習慣の確立を目指します。
- 児童会活動と連動した取組（放送での呼びかけ等）を行います。

10 きまり

保護者	お子さんは、日新小のきまりをしっかりと守って生活している。
児童	学校や学級のきまりをしっかりとまもっていますか。



3.28 (3.25)



3.50 (3.50)

【分析】

- 肯定的回答が保護者は91%、児童は92%で高い数値となっている。
- 前年度の肯定的回答は、保護者が93%で児童が95%。概ね今年度と同等。

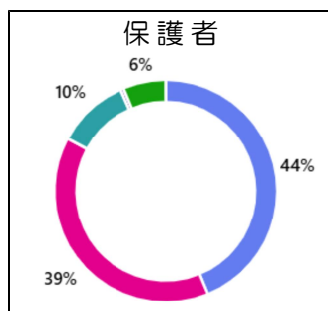
【改善の方向性】

- 保護者、地域、学校が共に子どもを育てるという意識を高めるため、指導部便り等を通して学習や生活のルールの共有化を図ります。
- 今後も全教職員による目配り、気配りを大切に、随時情報共有を行いながら指導を行

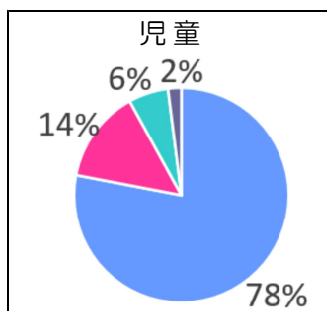
っていきます。

## 1.1 家庭・児童との連携・相談

保護者	学校は、子供たちの学習や生活、心身の健康などについて家庭に連絡したり、適切に相談に応じたりしている。
児童	先生は、こまったことがあったときに、話を聞いてくれますか。



3.35 (3.13)



3.69 (3.06)

### 【分析】

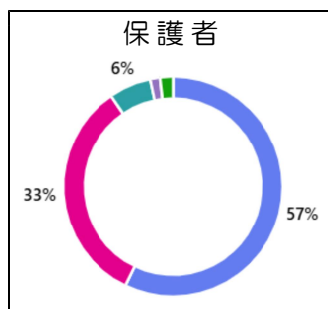
- ・保護者の肯定的回答が88%で、前年度の82%から評価を上げた。
- ・児童の肯定的回答は92%で、前年度の72%から大きく上昇した。
- ・4と回答した児童は78%で、前年度の41%から大きく増加した。

### 【改善の方向性】

- ・今年度、大きく評価が上がりました。次年度も丁寧な支援、指導、連携を心がけていきます。

## 1.2 情報発信

保護者	学校は、地域や家庭に学校の公開や情報発信を積極的に行っている。（学校行事や授業参観、学校便りや学年通信 等）
-----	--



3.50 (3.42)

### 【分析】

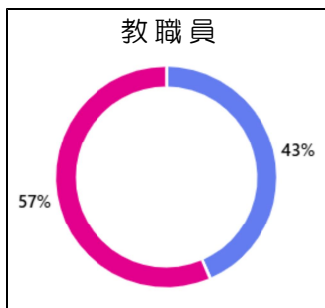
- ・ 92%の保護者が肯定的回答をしており、そのうち「4」と回答した割合が6割近くあり、高い評価となっている。
- ・ 昨年度の肯定的回答は94%で今年度とほぼ同等だった。

【改善の方向性】

- ・ 学校からの文書がよりわかりやすいものになるよう見直しを図ります。
- ・ 参観日の実施時期や回数等を年間を通してバランス良く配置します。

### 1.3 特別支援教育

教職員	特別支援教育の充実に向け、専門性を高めるとともに、協働体制による実践を進めている。
-----	---



**3.43** (3.25)

【分析】

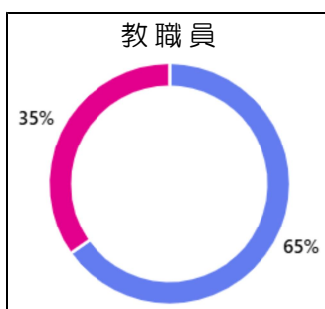
- ・ 肯定的回答が100%となった。(前年度95%)
- ・ 「4」回答が43%で、前年度の30%から増加した。

【改善の方向性】

- ・ 今後も通常学級担任と特別支援学級担任の協働による教育活動を進めていきます。
- ・ 児童理解研修を通し、児童1人1人の教育的ニーズを全教職員で共有します。

### 1.4 危機管理

教職員	登下校の安全や災害時及び学校事故等において適切な対応を行っている。
-----	-----------------------------------



**3.65** (3.24)

【分析】

- ・肯定的回答が100%となった。(前年度90%)
- ・「4」回答が65%となり、前年度の33%から大きく上昇した。

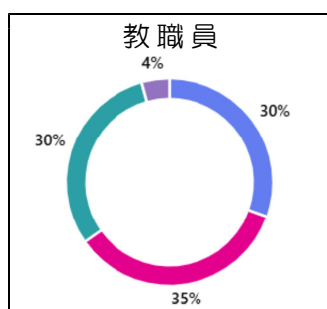
【改善の方向性】

- ・確認、連絡、報告の意識を高め、全職員の協働のもと適切な対応に努めます。

## 1.5 働き方改革

教職員

勤務時間を意識した働き方や校内業務の適正化が進められている。



2.91 (2.48)

【分析】

- ・肯定的回答が65%で、前年度の43%から大きく改善された。
- ・否定的回答が34%あり、課題が残る。

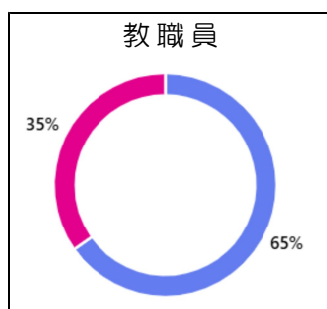
【改善の方向性】

- ・ICTの効果的活用を進め、業務に係る時間と労力の軽減を図ります。
- ・組織的な教科担任制を進め、授業の充実と教材研究の効率化を図ります。

## 1.6 コンプライアンス

教職員

教育公務員であることを強く自覚して、服務規律を遵守している。



3.65 (なし)

【分析】

- ・肯定的回答が100%。多くの職員が「4」と回答した。

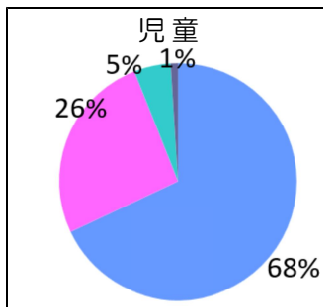
【改善の方向性】

- ・コンプライアンス強化月間（5月）に研修を実施し、意識の向上を図る。
- ・今後もコンプライアンスに係る通知に基づき、職員終会にて管理職から周知、指導を随時行う。

## 17 楽しい学校

児童

学校は、たのしいですか。



3.61（なし）

【分析】

- ・肯定的回答が94%で高い数値を示した。

【改善の方向性】

- ・1～16で既述した方策により、児童にとって「自分のよさや持ち味を存分に発揮でき、明日も行きたいと思える学校」をつくっていきます。

### 保護者の記述より

【教育活動に対する意見】

- ・授業で SNS リテラシーを実施してほしい
- ・運動会 今年度は6年生の全員リレーがあってとっても良かった。毎年恒例にして欲しい。障害物リレーとかではなく、普通のリレーがみたい。

《学校より》

- SNS リテラシーは、今後も参観日で情報モラル教室を実施します。また、指導部便り等を通して適宜指導していきます。
- 運動会は、次年度の改善策に沿って実施していきます。6年生のリレーは実施の予定です。

### 【施設・環境に対する意見】

- ・乾燥時期の湿度管理に力を入れてほしい。
- ・トイレの修繕要望
- ・グラウンドの整備

#### 《学校より》

- 湿度対策は可能な方策を検討します。
- トイレは修繕要望中です。
- グラウンドは公務補さんが整地や草刈りを行なっています。

### 【その他】

- ・子どもが楽しく通えていること、健康や安全の確保、色々な経験をさせてくれていることなどへの感謝のコメントがありました。
- ・漢検を学校で受けられるようにしてほしい。
- ・学級の様子をもう少し知りたい。学級便りがあると嬉しい。
- ・友達の家遊びに行くときのルールや常識的なことを学校から保護者に伝えてほしい。
- ・うちガクは担任により毎年変わるのではなく、同じやり方にしてほしい。
- ・子どもがスケジュールの見通しがつきやすく、自分たちで判断と決定をする機会が増え、余裕と自信を持てる生活が送れるようになるといいなと思います。
- ・給食の試食会をやってほしい
- ・大谷グローブを使わせてほしい

#### 《学校より》

- 漢検は明倫中もしくは一般会場で受験可能となっています。また、オンライン受験もあります。詳しくは漢検のホームページをご参照ください。
- 学級便りの発行については、学校として統一はしておりません。。学級の様子については、参観日、学級懇談、個人面談等の機会も活用してお伝えしてまいります。
- 放課後のすごし方については、学級指導をしております。友人宅に行く場合のマナー等につきましても、各家庭において親子で確認等されますようお願いいたします。
- うちガクにつきましても、発達段階や学年学級の実態に応じて取組が変わることをご理解いただければと存じます。宿題の日や自主学習の日を設定する等、一定のガイドラインを策定します。
- 主体的に行動できる児童の育成を教育活動全体を通して進めてまいります。
- 試食会については、保護者の希望により実施できます。実施形式は、本来の試食会の目的「保護者が子供たちの給食内容や食育への取組を理解する」に則り、保護者のみの試食会となります。合わせて栄養教諭による食育講座等も開催できます。従来の親子で会食するレク的な実施は行いません。希望される際は学校へご相談ください。
- 大谷グローブについては、担任に活用希望の申し出があった場合、休み時間や体育の時間に使えるようにします。